

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践について 職員の離職や技能実習生の導入により理念の共有、実践が上手く図れない。	パーソンセントケア(その人らしく、その人を中心とした)ができる。相手の立場になって考えられる。	: 翻訳機を用品。 : 新入職員はオリエンテーションで伝えます。 : 夕礼、会議等で理念の共有、実践を確認します。	12ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 地域と交流の情報提供や家族様の参加が少なくサービスの実際の評価の意見が聞くことが出来ない。	地域交流の場ができ、ケアサービスの向上ができる。	: 運営推進会議開催の案内状をご家族様に郵送します。 : 消防訓練、慰問活動再開時は回覧、ご家族様にもお知らせし見学等呼びかけます。 : 地域交流の場の提供となるような取り組みを考えます。	12ヶ月
3	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 現状に即した介護計画とサービス提供が共有されていない時がある。	現状に即した介護計画の取り組みができる。	: アイパットの導入より介護計画の共有できる方法を考えます。 : 担当者のモニタリングによって必要とされるサービスが考察できるため継続します。 : サービス担当者会議の開催を継続をします。(現状コロナ過により電話にて開催)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月